

高密度脳波計(dense array EEG)

256チャンネルのセンサーネット電極を頭に装着し、脳波を記録する装置です。各電極より記録された脳波からてんかん性異常波を抽出し、本人のMRI画像上に異常波の信号源（震源地）を表示させることができます。個人脳MRI画像に信号源を投影できるため、病変部位と信号源の位置関係の把握が容易になり、大変有用な検査装置です。我々の施設ではこの改良型高密度脳波計を日本で初めて導入し、てんかんの焦点診断と外科治療に役立っています。

高密度脳波検査

